

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

### 【タイトル】

神のみぞ知るアマガミ

### 【作者名】

七咲@エヴァ

### 【あらすじ】

ある世界にどんな女でも落とす事ができる男がいた。その名は「落とし神」これはそんな落とし神の別な世界でのお話である

この物語はもし「神のみぞ知る世界」の主人公、「桂木桂馬」が「アマガミ」の舞台でどういう活躍をするのかというパロディ小説です。できれば、両方のアニメ又は原作を知らないと思われる部分が多いので

ご了承ください。

ちなみに橘純一は設定上サブキャラに降格しましたww

ちなみに現時点で桂馬はエルシィにはあっていません

## プロローグ

「……僕の名前は桂木桂馬、17歳。ゲーム世界に幾年月、気がつけばギャルゲー攻略の天才。落とし神と言われるようになった」

僕は今の学校、私立舞島学園をある理由で転校することになった。まあ、理由は言わないけど、どーでもいい理由なので、

その転校先は、輝日東高校だった。

……

「本日、輝日東高校に転校してきました。桂木桂馬です。よろしくお願ひします。」僕は簡単に挨拶をしながら、僕の愛機PFPをしていた。

「はい、桂木君ね。私は2 B担当の高橋、よろしくね。」そう言っ  
て、僕の担任になる高橋が僕に笑顔でこっちに向かって挨拶をしてきた。

「……ああ、よろしく」みんなの視線が集まっていた。それは僕の顔や体の一部をみているのではなく、僕のPFPを見ていた

「……ねえ、あの転校生学校でゲームやってるよ」「本当だ」

何やらヒソヒソ話が聞こえてくる。どうやら、僕が教室でゲームをやっているのがおかしいみたいだ。前にいた舞島は問題なかったのに、

「とりあえず、桂木君の席はあの窓側の後ろの席だから」そう言って指をさしている方向に「っただけ空席があった。そこが僕の席だ。その席に自分の荷物を置いて僕はゲームを続行した。」